

令和 8 年度

事務事業評価シート

【市長直轄組織】

駅周辺にぎわい創生課
複合文化施設整備推進室

目 次 【 市長直轄組織 】

	課 名	事業名称	ページ
1	駅周辺にぎわい創生課	石岡駅周辺整備事業	P1
2	駅周辺にぎわい創生課	複合文化施設（市民ホール）整備事業	P4
3	駅周辺にぎわい創生課	石岡駅西口交流施設維持管理経費	P7
4	駅周辺にぎわい創生課	石岡駅周辺公園維持管理経費	P10

令和8年度 事務事業評価シート

担当部		課名
市長直轄組織		駅周辺にぎわい創生課
予算	会計	一般会計
	款	土木費
	項	都市計画費
	目	都市計画総務費
主な内訳		需用費、役務費、委託料、工事請負費

事業名	石岡駅周辺整備事業
根拠法令	

1. 事業概要

体系	政 策	04 都市基盤・環境	施策としての あるべき 将来の姿	石岡駅周辺は、市の中心拠点として都市機能が集約しており、生活利便性が高く、市の玄関口として賑わいがあります。
	施 策	01 駅周辺の整備		
目的	顧客 (誰を)	石岡駅・バス利用者・中心市街地への来訪者		
	意図 (どのように)	魅力的な空間の創出・利便性の向上		
事業の概要		石岡駅周辺整備事業（第2期計画）に基づき、石岡駅周辺の整備を実施します。石岡駅西口側の既存施設を改修し、多世代交流施設としての整備することでの賑わい創出や、石岡駅東口側のバスターミナルを整備することで、公共交通機能の強化による利便性向上など、複数の施設等を整備することにより、市の魅力向上を図ります。		
事業全体としての課題		石岡駅西口側については、ライフスタイルの変化や建物の老朽化、後継者不足等により十分に対応できていない状況です。ハード面も含め、ソフト事業の支援の強化が重要と考えられます。また、石岡駅周辺に建設を検討している複合文化施設との連携をし、更なるにぎわい創出が必要と考えます。		
事業としての将来像		長 期 目 標 (基本構想の計画期間)	石岡駅を中心とした整備を進めることで、中心市街地の活性化を目指します。	
		中 期 目 標 (基本計画の計画期間)	石岡駅バスロータリーや西口交流施設の整備により、賑わいや人流を創出します。	

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和5年度 (過年度)	令和6年度 (過年度)	令和7年度 (過年度)	令和8年度 (現年度)
(決算額)	国庫支出金	236,524	41,293	25,065	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	169,800	109,100	15,900	
	その他	0	8,208	13,828	
	一般財源	51,003	38,248	5,370	
	決算額計(A)	457,327	196,849	60,163	
(予算額)	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	0	0	0	0
	政策的経費	263,137	84,514	4,218	1,815
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	161	13,725	11	0
	前年度から繰越	375,979	169,930	59,239	0
	次年度へ繰越	169,930	59,239	0	0
予算額計(B)		469,347	208,930	63,468	1,815
執行率(A/B)		97.44%	94.22%	94.79%	0.00%
正規	職員数(人)	2.00	1.50	1.40	
	人件費(C)	14,536	11,835	11,093	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		471,863	208,684	71,256	
全体計画 (各年度に実施する 事業計画)		◇西口交流施設駐車場の整備 ◇東口都市公園の整備 ◇西口交差点の整備 ほか	◇石岡ステーションパークの 整備 ◇ポケットパークの整備 ◇東口都市公園の整備	◇石岡ステーションパークの 整備 ◇ポケットパークの整備	◇駅周辺整備ワークショップ
財源の種類		都市構造再編集中支援事業交付金【1/2】 公共事業等債			

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名①		説明等					単位	経費区分
	石岡駅西口の整備事業		事業進捗率（西口交差点の整備、西口交流施設の整備、西口交流施設駐車場の整備、石岡ステーションパーク1階利活用の推進、ポケットパークの整備）					%	政策
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			40	60	80	100	-	-
	実績値(b)		0	20	60	60	100		
	達成率(b/a)			50.00 %	100.00 %	75.00 %	100.00 %		
	コスト	決算額(c)	42,975	97,184	338,063	44,382	55,763		
		内訳	委託料、工事請負費等						
		職員数(人)	1.25	1.75	1.00	1.00	1.40		
		人件費(d)	9,085	12,719	7,268	7,890	11,093		
		フルコスト(c+d)(f)	52,060	109,903	345,331	52,272	66,856		
		単位コスト(f/b)	-	5,495.15	5,755.52	871.20	668.56		
	指標名②		説明等					単位	経費区分
	石岡駅東口の整備事業		事業進捗率（石岡駅バスターミナルの整備、東口都市公園の整備）					%	政策
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			50	100	100	100	-	-
	実績値(b)		0	50	75	100	100		
	達成率(b/a)			100.00 %	75.00 %	100.00 %	100.00 %		
	コスト	決算額(c)	200,802	118,169	118,146	150,851	0		
		内訳	委託料、工事請負費、用地購入等						
		職員数(人)	1.25	1.75	1.00	0.50	0.00		
		人件費(d)	9,085	12,719	7,268	3,945	0		
		フルコスト(c+d)(f)	209,887	130,888	125,414	154,796	0		
		単位コスト(f/b)	-	2,617.76	1,672.19	1,547.96	0.00		
	指標名③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0	0	0		
	達成率(b/a)			%	%	%	%		
	コスト	決算額(c)	0	0	0	0	0		
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費(d)							
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)	-	-	-	-	-		

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	歩行者・自転車通行量	1日あたりの石岡駅前通りの歩行者・自転車通行量				人	令和7年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和7年度	
		目標値(a)	684	734	785	785	785	
		実績値(b)	387	531	395			
		達成率(b/a)	56.58 %	72.34 %	50.32 %			
		達成率の評価	達成できていない	達成できていない	達成できていない			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②							令和0年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和0年度	
		目標値(a)						
		実績値(b)						
		達成率(b/a)	%	%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検） ※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。	
	石岡駅周辺整備事業（第2期）として、石岡市中心市街地活性化基本計画を始め、各種計画に基づき実施しています。駅周辺等の充実、市民生活の向上や産業振興に必要であり、基本施策と合致しています。	● 合致している	○ 検討の余地がある
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。	
	本事業により石岡市の魅力を高めることに繋がるため、基本理念に適合していると考えられます。	● 適合している	○ 検討の余地がある
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。	
	駅周辺におけるインフラの整備は市が推進していく事業であり、市の関与は妥当であると言えます。	● 妥当である	○ 検討の余地がある
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。	
	駅周辺の整備は、市の魅力を高めることが出来ると考えられ、人口減少、少子高齢化、関係人口増加に効果があると言えます。	● 効果がある	○ 検討の余地がある ○ 事業の性質上対象とならない
有効性	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。	
	事業期間が長期になることや、環境整備における事業効果が現れるまでに時間を要することから、目標値の達成には至っていませんが、成果指標の達成に効果があると考えられます。	○ 達成できている	● 概ね順調に進捗している ○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。	
	計画に基づく整備により、駅周辺の利便性や回遊性の向上が図られ、成果指標である「歩行者・自転車通行量」につながる取組となっています。	● 有効につながっている	○ 検討の余地がある
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。	
	事業内容によっては、ワークショップの開催などにより、市民のニーズを把握していきます。その他積極的に課題や要望等を捉えていきます。	● 行っている	○ 検討の余地がある
効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。	
	現在整備を検討している新市民ホール整備事業と相互の連携が必要です。より密な連携を図ることによって効果的効率的な事業の実施が可能と考えられます。	○ 既に実施している	● 検討の余地がある ○ 検討の余地はない
	活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。	
	予算や手法に関して、適切な方法で整備を進めていると言えます。	● 適切である	○ 検討の余地がある

6. 事業評価（総括評価） ※該当する選択肢の●を選択

事業の成果 （アウトプット やアウトカムを 踏まえた事業成 果の総括評価）	石岡駅周辺整備事業（第2期計画）に基づき、石岡駅周辺の整備が完了しました。 石岡駅西口交流施設や東口都市公園を整備したことで、多様なニーズに対応し、幅広い世代が利用・交流できる場を創出しました。 また、石岡駅東口側のバスターミナル等の整備による交通便利性の向上に加え、ポケットパークの整備等を進めたことで、駅周辺及び中心市街地の回遊性の向上が図られ、にぎわいの創出に寄与しています。			
今後の方向性 （事業の方向 性の具体的な 内容や課題へ の取組等）	事業の方向性	○ 継続実施（変更なし）	● 見直し検討	○ 事業終了
	今後は、整備した施設の効果的な利活用を推進するとともに、市民への周知や利用促進に取り組むことで、利用者数の増加及び駅周辺の回遊性やにぎわいのさらなる向上を図ります。 また、多様なニーズや社会情勢の変化を踏まえ、必要な基盤整備やソフト事業の検討を行うことが必要です。			

令和8年度 事務事業評価シート

担当部		課名
市長直轄組織		駅周辺にぎわい創生課
予算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	複合文化施設整備事業費
主な内訳		需用費、委託料

事業名	複合文化施設（市民ホール）整備事業
根拠法令	

1. 事業概要

体系	政 策	08 地域・文化	施策としての あるべき 将来の姿	文化芸術活動を行う団体や市民と連携・協働し、本市の歴史や風土が反映された特色のある文化芸術の育成に取り組むことで市民一人ひとりがその担い手であることを認識しています。
	施 策	03 文化・芸術の推進		
目的	顧客 (誰を)	全市民		
	意図 (どのように)	文化芸術の鑑賞・発表の場とともに、市民交流の拠点として新たな施設を整備します。		
事業の概要		令和2年3月、老朽化により閉館した石岡市民会館を引き継ぐ役割を持つホール機能を中心とした施設を整備します。ホール機能のほか、必要とされる機能を加えた施設とします。		
事業全体としての課題		施設整備に際しては、人件費や物価の高騰傾向が続いており、建設費用等が膨らむことが予想されることから、無理のない財政計画の中で歳出の抑制と有効な財源の確保が求められます。		
事業としての将来像	長 期 目 標 (基本構想の計画期間)	複合文化施設を完成させ、運営を開始します。		
	中 期 目 標 (基本計画の計画期間)	施設整備へ向け基本計画を策定し、その後、設計・建設工事に取り掛かります。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和5年度 (過年度)	令和6年度 (過年度)	令和7年度 (過年度)	令和8年度 (現年度)
(決算額区分)	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	15,466	
	一般財源	1,205	2,015	22,567	
	決算額計(A)	1,205	2,015	38,033	
(経費区分)	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	0	0	0	0
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	1,913	2,300	1,142	7,763
	補正等	20,008	2,518	146,720	0
	前年度から繰越	0	19,635	21,835	129,063
	次年度へ繰越	19,635	21,835	129,063	0
	予算額計(B)	2,286	2,618	40,634	136,826
執行率(A/B)		52.71%	76.97%	93.60%	0.00%
正規	職員数(人)	4.50	6.50	4.50	
	人件費(C)	32,706	51,285	35,658	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		33,911	53,300	73,691	
全体計画 (各年度に実施する事業計画)		◇基本構想策定 ◇基本計画策定業務委託	◇基本計画策定業務委託	◇基本計画策定業務委託 ◇測量業務委託	◇事業内容整理
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	複合文化施設整備基本計画の策定		複合文化施設整備基本計画を取りまとめます。					-	公共施設
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			1	0	1	1	-	-
	実績値(b)		0	0	0	0	1		
	達成率(b/a)			0.00 %	%	0.00 %	100.00 %		
	コスト	決算額(c)		0	2,727	0	2,015	21,835	
		内 訳		複合文化施設整備基本計画の策定					
		職員数(人)		0.00	1.50	4.50	6.50	4.50	
		人件費(d)		0	10,902	32,706	51,285	35,658	
		フルコスト(c+d)(f)		0	13,629	32,706	53,300	57,493	
		単位コスト(f/b)		-	-	-	-	57,493.00	
		指標名 ②		説明等					単位
									経費区分
		年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(a)			0	0	0	-	-
		実績値(b)		0	0	0	0	-	-
		達成率(b/a)			%	%	%	%	
	コスト	決算額(c)		0	0	0	0	-	
		内 訳							
		職員数(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	-	
		人件費(d)							
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)		-	-	-	-	-	
		指標名 ③		説明等					単位
									経費区分
		年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(a)			0	0	0	-	-
		実績値(b)		0	0	0	0	-	-
		達成率(b/a)			%	%	%	%	
	コスト	決算額(c)		0	0	0	0	-	
		内 訳							
		職員数(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	-	
		人件費(d)							
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)		-	-	-	-	-	

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	複合文化施設の供用開始	複合文化施設の整備完了・運営開始。				-	令和12年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
		目標値(a)	0	0	0	0	1	
		実績値(b)	0	0	0			
		達成率(b/a)	- %	- %	%			
		達成率の評価						
	最終目標②	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位
								令和0年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和0年度	
		目標値(a)						
		実績値(b)						
		達成率(b/a)	%	%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	文化芸術の拠点となる施設を整備することで「文化・芸術の推進」に資する事業です。		● 合致している	○ 検討の余地がある
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	市の基本理念や各種計画を踏まえた整備基本計画を策定し、将来像実現のための適合性が図られています。		● 適合している	○ 検討の余地がある
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	多くの市民が利用する公共施設として整備することから、市の関与が必要です。		● 妥当である	○ 検討の余地がある
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
有効性	新たな施設は、文化・芸術の活動や交流の場として積極的な活用を図ることにより、市民をはじめ多くの人の利用を目指すという観点から、関係人口増加の効果があると考えます。		● 効果がある	○ 検討の余地がある
	○ 事業の性質上対象とならない			
	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	整備基本計画の策定や建設予定地の測量など事業は進捗しており、成果指標（アウトカム）の目標達成に向けて進んでいます。		○ 達成できている	● 概ね順調に進捗している
	○ 目標に向かっていない			
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	活動指標（アウトプット）として設定している整備基本計画の策定は、複合文化施設（市民ホール）整備の基本方針を定めたものであり、成果指標（アウトカム）の達成に不可欠です。		● 有効につながっている	○ 検討の余地がある
課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。			
効率性	高校生を対象としたワークショップを開催することで、主に若年層のニーズを的確に捉えた事業展開を行っています。		● 行っている	○ 検討の余地がある
	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。		
	施設機能の複合化や民間活力の積極的な導入を検討することにより、効果的・効率的な事業展開に努めています。		○ 既に実施している	● 検討の余地がある
	○ 検討の余地はない			
	活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。		
今後の方向性	専門的知見が必要な業務を民間事業者へ委託し、そのノウハウを最大限活用することで、より効果的な業務遂行が可能と考えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果（アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	令和2年3月に閉館した石岡市民会館を引き継ぐ役割を持つ、ホール機能を中心とした施設の整備に向け、整備基本計画の策定および建設予定地の測量業務を実施しました。			
今後の方向性（事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	○ 継続実施（変更なし）	● 見直し検討	○ 事業終了
	施設機能や事業に要する経費、事業の全体スケジュールなど、施設整備に向け必要な事項を整理していきます。			

令和8年度 事務事業評価シート

担当部		課名
市長直轄組織		駅周辺にぎわい創生課
予算	会計	一般会計
	款	土木費
	項	都市計画費
	目	都市計画総務費
主な内訳		需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料

事業名	石岡駅西口交流施設維持管理経費
根拠法令	石岡市石岡駅西口交流施設条例 石岡市石岡駅西口交流施設規則

1. 事業概要

体系	政 策	04 都市基盤・環境	施策としての あるべき 将来の姿	石岡駅周辺は、市の中心拠点として都市機能が集約しており、生活利便性が高く、市の玄関口として賑わいがあります。
	施 策	01 駅周辺の整備		
目的	顧客 (誰を)	石岡駅・バス利用者・中心市街地への来訪者		
	意図 (どのように)	魅力的な空間の創出		
事業の概要		当事業は、駅利用者が利用可能なカフェや、学習スペースなどを備えた石岡駅西口交流施設及び地域の自主防災活動の拠点として活用でき、大規模災害時などに備蓄物資等の供給ができる施設である西口あんしんステーションの維持管理を行います。		
事業全体としての課題		石岡駅西口交流施設やあんしんステーションを整備し、駅前の賑わいや防災の面において寄与していますが、今後においては、西口交流施設の東棟や西棟のエリアの更なる活用や検討が必要と考えられます。		
事業としての将来像		長 期 目 標 (基本構想の計画期間)	市民による多様な活動と交流を促進することで、駅周辺のにぎわいの創出に寄与します。	
		中 期 目 標 (基本計画の計画期間)	幅広い世代が集い、地域文化を継承、向上することができるように、地域交流の場として環境を整備し、市民による多様な活動と交流を促進します。	

2. 投入量（インプット）

(単位：千円)

年度		令和5年度 (過年度)	令和6年度 (過年度)	令和7年度 (過年度)	令和8年度 (現年度)
(決算区分)	国庫支出金	2,160	2,160	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	392	1,896	2,328	
	一般財源	5,701	9,058	11,381	
	決算額計(A)	8,253	13,114	13,709	
(経費区分)	義務的経費	0	0	0	1,343
	一般行政経費	9,616	16,732	14,876	13,827
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	-168	-2,939	0	0
	前年度から繰越	0	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	9,448	13,793	14,876	15,170
執行率(A/B)		87.35%	95.08%	92.16%	0.00%
正規	職員数(人)	1.50	1.25	0.85	
	人件費(C)	10,902	9,863	6,735	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		19,155	22,977	20,444	
全体計画 (各年度に実施する事業計画)		◇西口交流施設維持管理 ◇チャレンジショップの選定	◇西口交流施設維持管理 ◇チャレンジショップの選定 ◇西口交流施設駐車場維持管理 ◇西口あんしんステーション維持管理	◇西口交流施設維持管理 ◇チャレンジショップの選定 ◇西口交流施設駐車場維持管理 ◇西口あんしんステーション維持管理	◇西口交流施設維持管理 ◇チャレンジショップの選定 ◇西口交流施設駐車場維持管理 ◇西口あんしんステーション維持管理
財源の種類		都市構造再編集集中支援事業交付金【1/2】			

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	西口交流施設維持管理		西口交流施設の維持・管理に係る各契約履行率					%	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	100	100	100	100	100
	実績値(b)		0	0	100	100	100		
	達成率(b/a)			%	100.00 %	100.00 %	100.00 %		
	コスト	決算額(c)	0	0	2,658	5,161	6,429		
		内 訳	施設夜間警備業務、施設清掃業務、昇降機保守、精算機保守						
		職員数(人)	0.00	0.00	1.50	1.50	0.85		
		人件費(d)	0	0	10,902	9,863	6,735		
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	13,560	15,024	13,164		
		単位コスト(f/b)	-	-	135.60	150.24	131.64		
	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0	0	0		
	達成率(b/a)			%	%	%	%		
	コスト	決算額(c)	0	0	0	0	0		
		内 訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費(d)							
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)	-	-	-	-	-		
	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0	0	0		
	達成率(b/a)			%	%	%	%		
	コスト	決算額(c)	0	0	0	0	0		
		内 訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費(d)							
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)	-	-	-	-	-		

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	施設年間利用者数	西口交流施設の年間利用者数				人	令和9年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		目標値(a)	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	
		実績値(b)	6,136	12,551	14,080			
		達成率(b/a)	34.09 %	69.73 %	78.22 %			
		達成率の評価	達成できていない	達成できていない	達成できていない			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②							令和0年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和0年度	
		目標値(a)						
		実績値(b)						
		達成率(b/a)	%	%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	石岡駅周辺整備事業（第2期）として、石岡市中心市街地活性化基本計画を始め、各種計画に基づき実施しています。駅周辺等の充実は、市民生活の向上や産業振興に必要であり、基本施策と合致しています。	● 合致している	○ 検討の余地がある	
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	本事業により駅周辺の環境を整え、滞留人口の向上を図ることは、石岡市の魅力を高めることに繋がります。また、防災機能を有する施設の管理は市民の安全を守ることに直結しており、基本理念に適合していると考えられます。	● 適合している	○ 検討の余地がある	
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	市が整備した施設であり、市が関与することは妥当です。	● 妥当である	○ 検討の余地がある	
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
有効性	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていくか。		
	西口交流施設は、令和5年8月から利用開始した施設であるため、事業効果が現れるまでに相応の時間が必要です。現状では目標値の達成には至っていませんが、適切に維持管理を行いつつ、事業者や利用者の要望等に対応していくことで、成果指標の達成に効果があると考えられます。	○ 達成できている	● 概ね順調に進捗している	○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	施設の適正な維持管理を実施し快適な利用環境を構築することで、成果指標である「西口交流施設の年間利用者数」の増加に有効につながると言えます。	● 有効につながっている	○ 検討の余地がある	
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	チャレンジショップ事業者や施設利用者からの要望、意見をもとに維持管理をおこなっています。	● 行っている	○ 検討の余地がある	
	効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。	
チャレンジショップによる使用料収入のほか光熱水費の一部を出店事業者に負担していただくことで、事業費の削減を実施しています。		● 既に実施している	○ 検討の余地がある	○ 検討の余地はない
活動指標（アウトプット）の効率性		活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。		
活動指標は、施設の維持管理業務に必要な指標となっており適切と考えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある	

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果（アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	適切な維持管理を実施することで、駅利用者等の利便性向上と快適な利用につながっています。また、西口交流施設の利用者も増加しているため、にぎわいの創出に寄与しています。			
今後の方向性（事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	引き続き適正な維持管理を実施することにより、利便性を高め・快適に利用しやすい環境づくりを推進します。			

令和8年度 事務事業評価シート

担当部		課名
市長直轄組織		駅周辺にぎわい創生課
予算	会計	一般会計
	款	土木費
	項	都市計画費
	目	公園事業費
主な内訳		需用費、役務費、委託料 等

事業名	石岡駅周辺公園維持管理経費
根拠法令	都市公園法・石岡市都市公園条例・石岡市石岡スケートボードパーク使用規則

1. 事業概要

体系	政 策	04 都市基盤・環境	施策としての あるべき 将来の姿	石岡駅周辺は、市の中心拠点として都市機能が集約しており、生活利便性が高く、市の玄関口として賑わいがあります。
	施 策	01 駅周辺の整備		
目的	顧客 (誰を)	公園施設利用者		
	意図 (どのように)	安心で安全にくつろぐことができる憩いの場を提供します。		
事業の概要		駅周辺の賑わい創出を図るために、ＢＲＴ専用駅前広場に隣接している未利用地を、子育て支援や憩いの場としての機能を持つ都市公園として整備しました。当事業においては、当該施設の維持管理を行います。 また、本事業については、石岡駅東口都市公園維持管理経費として、令和６年度まで実施している継続事業となります。		
事業全体としての課題		公園内の利用に関する要望の対応や、より良い今後の利用環境を備えていくため継続して経費が必要となります。		
事業としての将来像		長 期 目 標 (基本構想の計画期間)	多世代の交流活動の拠点を提供し、駅周辺のにぎわいの創出に寄与します。	
		中 期 目 標 (基本計画の計画期間)	スケートボードパークを備えた都市公園を備えることで駅周辺に多世代の人流を生み出します。	

2. 投入量（インプット）

(単位：千円)

年度		令和5年度 (過年度)	令和6年度 (過年度)	令和7年度 (過年度)	令和8年度 (現年度)
(決算区分)	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	64	100	
	一般財源	0	4,777	5,514	
	決算額計(A)	0	4,841	5,614	
(経費区分)	義務的経費	0	0	0	61
	一般行政経費	0	7,571	6,275	6,381
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	-1,969	0	0
	前年度から繰越	0	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	0	5,602	6,275	6,442
執行率(A/B)		0.00%	86.42%	89.47%	0.00%
正規	職員数(人)	0.00	0.75	0.75	
	人件費(C)	0	5,918	5,943	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		0	10,759	11,557	
全体計画 (各年度に実施する 事業計画)			◇東口都市公園維持管理	◇東口都市公園維持管理 ◇ポケットパーク維持管理	◇東口都市公園維持管理 ◇ポケットパーク維持管理
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	東口都市公園維持管理		都市公園の維持・管理に係る保守・維持管理・点検等業務履行件数					件	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)					3	4	4	4
	実績値(b)					3	4		
	達成率(b/a)			%	%	100.00 %	100.00 %		
	コスト	決算額(c)				3,226	4,876		
		内 訳	施設清掃業務、施設夜間警備業務、施設点検委託						
		職員数(人)				0.75	0.75		
		人件費(d)	0	0	0	5,918	5,943		
		フルコスト(c+d)(f)				9,144	10,819		
		単位コスト(f/b)	-	-	-	3,048.00	2,704.75		
	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)								
	実績値(b)								
	達成率(b/a)			%	%	%	%		
	コスト	決算額(c)							
		内 訳							
		職員数(人)							
		人件費(d)							
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)	-	-	-	-	-		
	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)								
	実績値(b)								
	達成率(b/a)			%	%	%	%		
	コスト	決算額(c)							
		内 訳							
		職員数(人)							
		人件費(d)							
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)	-	-	-	-	-		

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	施設利用登録者数	石岡スケートボードパーク新規利用登録者数【累計数】				人	令和9年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		目標値(a)		500	1,000	1,500	2,000	
		実績値(b)		668	875			
		達成率(b/a)	%	133.60 %	87.50 %			
		達成率の評価		達成できた	達成できていない			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②							令和0年度
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和0年度	
		目標値(a)						
		実績値(b)						
		達成率(b/a)	%	%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	石岡駅周辺整備事業（第2期）として、石岡市中心市街地活性化基本計画を始め、各種計画に基づき実施しています。駅周辺等の充実は、市民生活の向上や産業振興に必要であり、基本施策と合致しています。		● 合致している	○ 検討の余地がある
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	市内外へ新たな施設へ利用者を誘致することで、石岡市の魅力を高めることができるため、基本理念に適合していると考えられます。		● 適合している	○ 検討の余地がある
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	市が整備した施設であり、市が関与することは妥当です。		● 妥当である	○ 検討の余地がある
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
	駅周辺にアーバンスポーツ機能を備えた公園を提供することは、多世代の交流を促進するとともに、市内外からの人流を創出することにつながるため、効果があります。		● 効果がある	○ 検討の余地がある ○ 事業の性質上対象とならない
有効性	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	継続的なPRや利用促進を行うことで新規利用登録者を毎年度500人ずつ増加させることを目標としており、引き続き登録者数の増加に取り組む必要があります。		○ 達成できている	● 概ね順調に進捗している ○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	施設の適正な維持管理を実施し快適な利用環境を構築することで、成果指標である「施設の利用登録者数」の増加に有効につながると言えます。		● 有効につながっている	○ 検討の余地がある
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	施設利用者の意見を取り入れ、初級者用のセクションの導入を計画するなど、適切な維持管理を行っていますと言います。		● 行っている	○ 検討の余地がある
効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。		
	さらなる利用者の増加に向けて、適宜適切な維持管理が求められます。利用しやすい環境を提供するため、登録の電子化など検討すべき余地があります。		○ 既に実施している	● 検討の余地がある ○ 検討の余地はない
	活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。		
	活動指標は、施設の維持管理業務に必要な指標となっており適切と考えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果 （アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	子育て世代や若者が安全・快適に利用・交流できる環境を整え、まちなか周遊の休憩環境を保持するなど、適切な維持管理を実施することで利用者が増加しています。			
今後の方向性 （事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	引き続き適正な維持管理を実施することにより、誰もが安心・快適に利用しやすい環境づくりを推進します。			